

マイナ保険証のご利用案内

皆さまご存じの通り、2024年12月2日より本格的にマイナ保険証を基本とする仕組みに移行となりました。

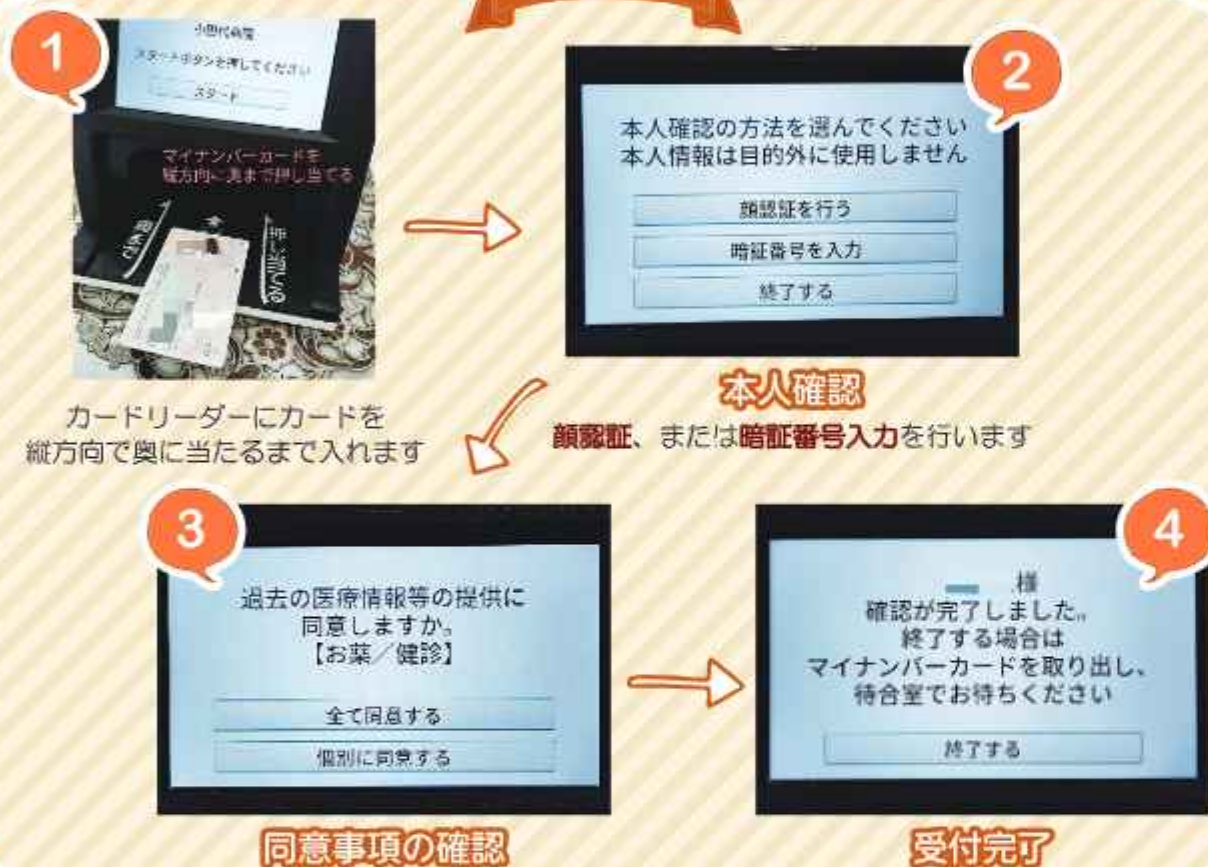
今回、医事課からはマイナ保険証のご利用方法をご案内いたします。



マイナンバーカードの
カードリーダーは
受付右側に設置しております



★手順★



操作方法でご不明な点は受付スタッフにお尋ねください。

編集後記

桜の季節も「あっ」という間に過ぎ去り、もう夏の匂いがする今日この頃。

先日、天気の良い休日に「海釣り公園」に魚釣りに行ってきました。錦江湾に桜島に青い海という素晴らしいロケーション。釣り糸を垂らしながら心地よい風に吹かれていると最高に気持ちがいいですよ!!この時期にリフレッシュをして心の栄養を蓄えて、やってくる暑い夏を迎えましょう。皆さんも時間があれば是非とも行ってみてください。



鹿児島市荒田1丁目25-6
TEL 099-253-8111
FAX 099-253-8140

小田代病院

ぜひホームページ
をご覧ください。



令和 7年 5月 発行

小田代病院 院内新聞 NO.27

ハッピー通信

人生会議をしよう 消化器内科部長兼訪問診療部長 小齊平 智久

みなさん『人生会議』はご存じでしょうか？

2018年、厚生労働省が『アドバンス・ケア・プランニング（ACP）』を普及させる目的でつけた愛称なのですが、お笑い芸人を起用したポスターに批判が集中してしまいました。ポスターは炎上しましたが、とても大切な内容ですので、ぜひ知っておいてほしいと思います。



以前から『人生の最終段階における医療のプロセスに関するガイドライン』はありました。当時は医療＝治療と捉えられていたため、医師が主導し「どういう治療をするか?」「それともしないか?」という選択を本人・家族に迫っていました。

それが、2017年に『人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン』に変わりました。大きく変わったのは以下の3点です。

①本人の望み・生きがいを支える『医療・ケア』の存在、つまりチームの輪に医療だけではなくケアの専門職の参加も求められることになりました。

②『治す医療』から『支える医療』へ。

これは、医師主導の医療から、本人が望む生活をチームで支える医療への変革でした。つまり主役が『本人』になりました。

③家族についても『家族等』へ変わりました。これは、身近でたくさん話している人の方が本人の気持ちを理解し代弁してくれる可能性が高い、ということで『家族だけではない』という意味です。

「私は病氣と闘う姿を子や孫に見せたい」

「私は住み慣れた家でゆっくり過ごしたい」

「私は息子のことを信用しているので、息子の決めたことに従うつもり」等

常日頃から『心づもり』を、信用できる誰かに繰り返し話しておくことが、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）＝人生会議です。

「何かあったらどうしよう?」

何かあるのが人生です。人間も生きものである以上、『いざ』という時は必ず訪れます。

そんな時、

「診察時はよくこんな話をされてましたね」

「リハビリの時はこんな会話がありましたよ」

「家では最近〇〇と言っています」

「デイサービスでは〇〇と話されてました」

本人の人生会議をもとに、みんなで悩むことで、結果的に本人の望む医療を受けられる（または望まない治療を避けられる）可能性が高まります。

※2020年からのコロナ禍がきっかけで、医師主導に逆戻りしてしまった感が否めません。

そんな今だからこそ『人生会議』してみませんか？

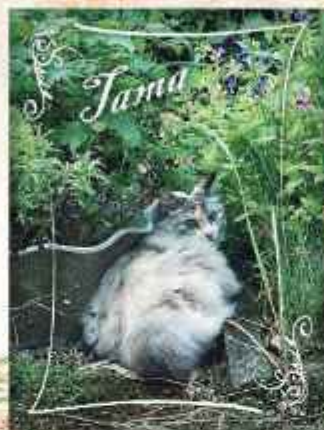


昨年の12月愛猫のネギが亡くなりました。猫コロナでした。

5年前保護センターから迎えたキジトラ柄の子でした。この日、イタチの被害から逃げてきた見た目はまるで熊のような真っ白な野良の子猫タマも保護し、我が家の家族になりました。「タマ」と「ネギ」合わせて「タマネギ」です（命名：娘）

タマは食いしん坊でマイペース。真っ白だった毛色が今は丸まって寝ているとまるで汚れたモップが置いてあるようにしか見えない柄となり、起きると大きな青い目を開けて甘えてくる子です。

ネギは成長すると『よかにせ』になり、かしこく優しい子でした。呼べば必ず来てくれるし、ご飯を2匹一緒にあげてもタマが食べ終わるまで見守り、その後に食べ始める。お風呂場のドアをコツンと頭突きで開け、蓋の上で二匹仲良く暖を取ったり、玄関のドアレバーを下げれば開けられることを知り、挑戦したりもしていました。



ネギの最期の日。久しぶりに朝ご飯を食べ水も飲み、いつもより元気に動いていたため喜んでいたものの、午後になると急に動かなくなり呼吸も浅くなり、不在だった娘が帰ってくるのを待っていたかのように空へ旅立ってしまいました。動かなくなったネギにスリスリしているタマを見てこれから大丈夫だろうか心配になりました。

2か月たった今、帰りが遅い日、玄関のドアを開けるとタマが座っていて「ちょっと遅いよー！今何時だと思っているの。お腹も空いているし、いい加減にしてよ。」と文句のトーンでしゃべり始める。ご飯をあげてもずっとついて回り、おしゃべりが止まらない。相槌を何度も打ち、撫でて機嫌を取り、やっと落ち着く。「うるさいなー」と思うときもあるけど、気づくと側にいて、声をかけると「ニャー」と返事をしてくれる。疲れた時などにタマを抱かしめると、モフモフ感に癒される。お互い様ですね（笑）。大事な家族です。

でもそろそろ同じ仲間を迎えてあげた方がいいのかなと思うこの頃です。

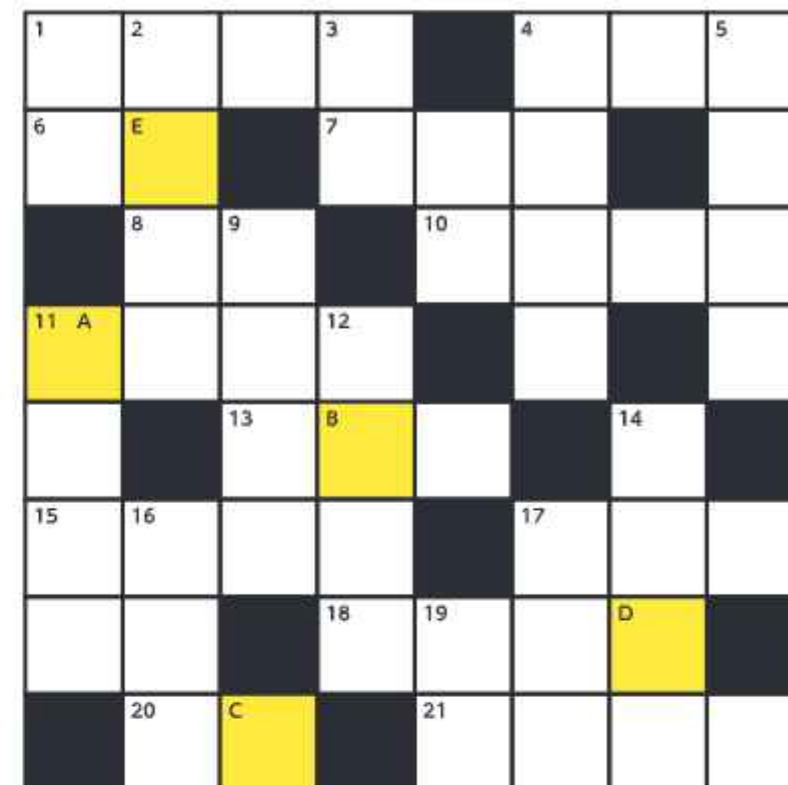
今回は、小田代病院・医療に関するクロスワードを作ってみました。ぜひ解いてみてくださいね（^▽^）感想をお待ちしています！

空欄をカタカナで埋めて、クロスワードを完成させてください。

A～Eまでの黄色いマス目のカタカナをつなげてキーワードを完成させてください。（5文字）

キーワードの答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---



タテのマス目

- 童謡：〇〇は ひろいな おおきいな♪
- 運動不足、喫煙、アルコールや塩分の取りすぎで上がるものは？
- 「〇〇の功名」
- 胆のうの中にできる石を何という？
- 山に向かって「ヤッホー！」
- 黄色を英語で言うと？
- 小田代病院の前理事長の名前は？「小田代〇〇〇〇」先生
- 隣の家や近くの家を何という？
- 「神仏から授かった子供」という意味
- 元号！大正の前は？
- のどから肺まで続く細い空気の通り道
- 運動をして心臓に〇〇をかけた時の心電図変化を見る検査を「運動〇〇心電図検査」という

ヨコのマス目

- 病院に来て、診察券を持って最初に行く場所は？
- 小田代病院の現理事長兼院長の名前は？「小田代〇〇〇」先生
- 2020年の流行語大賞「三〇〇」
ヒント：コロナウィルスが流行した時、小池都知事が発言した際に
- 携帯やテレビの〇〇〇〇の見過ぎに要注意！
- 涙の量が減ったりして目が乾燥した状態を「ドライ〇〇」という
- 長いひげと曲がった腰を持つ姿は長寿のシンボル。縁起の良い高級なエビは？
- 体の中を巡っている赤い液体は？
- 「論破」の読み
- 心・頭の中に思い浮かべる像や情景をカタカナ4文字で
- ビタミンCをはじめ栄養素がぎっしり外は茶色で細かい毛があり、中は黄緑色で小さな種があるフルーツは？
- 夜遅くまで起きていること
- 海外旅行時は要注意！「〇〇ボケ」
- 白衣の天使